



# 世界銀行東京事務所ニュースレター

2024 年（令和 6 年）5 月号



WorldbankTokyo

@WorldbankTokyo

## IMF・世界銀行グループ春季会合（4/15～20）

### 世界銀行の融資余力が最大 700 億ドル（約 10 兆円）拡大（4/19）

世界銀行は、G20 専門家グループの勧告を受け、資本運営枠組みの見直し、革新的な金融手法の検討を重ねてきました。今回の春の会合では、日本など 11 か国から、加盟国保証（ポートフォリオ保証プラットフォーム：白・仏・日・米の 4 か国が参加）、ハイブリッド資本（劣後債：独・伊・蘭・英など 8 か国が参加）、新信託基金「Livable Planet Fund」（日本が参加）への新規貢献 110 億ドルが発表されました。世界銀行の融資余力は、今後 10 年で、最大 700 億ドル拡大します。



### アフリカの電化率向上を図るパートナーシップ立ち上げ（4/17）

世界銀行とアフリカ開発銀行は、アフリカで電気へのアクセスがない 6 億人のうち 3 億人について、2030 年までに電気へのアクセスを確保するためのパートナーシップを立ち上げました。



### IDA21 増資（最貧国向け基金）に関するアフリカ首脳会合（4/29）

世界銀行とケニア政府は、本年末妥結を目指して交渉中の IDA21 増資に関するアフリカ首脳との会合をナイロビで開催（アフリカ 19 か国の首脳に加え、民間、若者、市民社会も参加）。各国首脳は、ガバナンス強化、雇用創出に向けた民間セクターとの協力、国内財源の確保、気候変動への強靱性強化、電化・デジタル化率向上への重点化を打ち出すと共に、アフリカ支援の強化が重要であることを表明しました。



### 世界銀行幹部による日本の大学生・院生向け連続オンライン講義

東京大学公共政策大学院・仲浩史教授の企画により、全国の大学生・院生を対象に、世界銀行幹部によるオンライン講義（MIGA 俣野長官、東アジア・太平洋地域担当 Manuela Ferro 副総裁など 5/15～7/5 の全 6 回。英語のみ）が開催されます。右記 QR コード経由による事前登録（各回別）が必要となります。



## UR2024（防災グローバルフォーラム：6/16～21@兵庫県姫路市）

### 姫路ロータリークラブでの協力要請（4/23）



世界銀行東京事務所は、姫路ロータリークラブ（三木健義会長（（株）三木組代表取締役））で、富士製鐵広畑工場（姫路市内）向け借款 2,400 万ドル（86 億円：日本開発銀行経由）、名神高速向け借款 4,000 万ドル



（144 億円）を端緒とした世界銀行と兵庫県の 60 年超にわたる関係などに焦点を当てた講演を行い、6 月開催の UR2024 への協力を要請しました。

### 神戸大学大学院国際協力研究科（GSICS）への協力要請（4/22）

世界銀行東京事務所・東京防災ハブは、神戸大学大学院国際協力研究科を訪問し、玉置理事兼副学長（教育・グローバル）、木村研究科長・小川教授を通じ、UR2024 への運営支援を要請。院生 40 名（留学生を含む）によるご支援を頂くことになりました。神戸大学の皆様には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。



UR2024@アクリエひめじ（姫路駅徒歩 10 分）へのご参加に当たっては、右記 QR コード経由での登録をお願いしております（参加費無料）。



## 東京防災ハブ：保健医療システムの強靱性診断ツールの発表

東京防災ハブは、自然災害と保健医療システムのネクサスに取り組んでいます。こうした中、本年 4 月、保健医療システムの災害への強靱性を判定するためのスコアカードが発表されました（日本・世界銀行防災共同プログラムによる支援）。これにより、データに基づくギャップ分析や、主要リスク・優先対策事項を特定するための方法論などに基づき、保健医療システム強靱化に必要な投資・改革の優先順位付けが円滑化されます。



### 主な来日スタッフ

- Michael Bennett 財務局マネージャーほか
- Mona Sur 東アジア・太平洋地域環境局プラクティス・マネージャーほか

（編集：世界銀行東京事務所 開 裕香子）